

一 般 質 問 日 程

3月 3日 (金) Am 9:00～

1. 川野 孝子 議員
2. 武田 篤子 議員
3. 唐澤 克己 議員
4. 平澤 恒雄 議員
5. 滝川 利秋 議員
6. 前沢 光昭 議員
7. 吉川 明博 議員

3月 6日 (月) Am 9:30～

8. 松下 亨 議員
9. 井原 康明 議員
10. 唐澤 健 議員
11. 片桐 義憲 議員
12. 壬生眞由美 議員



N01

令和 5 年 2 月 16 日

豊丘村議会議長 片桐忠彦 様

豊丘村議会議員 川野孝子

一般質問通告書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 「早寝、早起、朝ごはん」の検証について	<p>私がこの言葉を初めて聞いたのが平成15年初めて村議となった1期目の時の同僚女性議員の一般質問だった気がする。20年経つことである。豊丘村はこの「早寝、早起、朝ごはん」を現在も推奨している。この言葉が書かれた標しを村内に所定目にする。村内と共に汚れが目立ち、物かげが目立たなくなっている。</p> <p>(1) 現在この標しは村内に何基、いつ設置したのか</p> <p>(2) 20年経つだけで子どもたちを取りまく環境の可憐性もあり、又、ゲーム機変化している。学校では「早寝、早起、朝ごはん」の実態調査をしたことはあるか</p> <p>(3) 成長過程にある子どもたちにとって体を造る上でも脳の発達面でも「早寝、早起、朝ごはん」を習慣づけることが重要と考えるか。どのような指導をしているか。</p>	<p>教育委員会</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>

令和 5年 2月 16日

豊丘村議会議長 片桐忠彦 様

豊丘村議会議員 川野孝子

一般質問通告書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
<p>高齢者の介護支援と認知症予防について</p>	<p>令和4年12月議会の一般質問で唐澤克己議員の介護支援の村の重点施策を伺った。「高齢者が生きがいを持ち安心して暮らしていけるよう努める」と回答している</p> <p>(1) 令和4年12月末での要支援・要介護認定者は何人の内、認知症の人は何人のか</p> <p>(2) 在宅で半年以上介護している人は何人のか（介護料常金が支払われている人）</p> <p>(3) 介護をしている人の多くは高齢者であると思うが、老々介護のきびしい状況が伺える。其例への危機を感じながら介護にあたる人支援は、</p> <p>先日報道番組認知症についての特集をしていただき、日本は2025年には高齢者の5人に1人が認知症になるだろうと予測される。この状況は世界のトップでありその理由は、ひとり暮らしの高齢者が多い。人との会話が少なくなるとい</p> <p>(4) 昨年、今年と2024禍が続く中、この状況はきびしさを増していると思うが認知症の人が増えているという認識はありますか。</p>	<p>健康福祉課長</p> <p>健康福祉課長</p> <p>健康福祉課長</p> <p>健康福祉課長</p>

N03

令和 5 年 2 月 16 日

豊丘村議会議長 片桐忠彦 様

豊丘村議会議員 川野孝子

一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
	<p>(5) 軽度の段階で対策を講じる状態を維持、回復が認められる認知症予防は高齢者より 40代の若い人たちの対策が重要という。</p> <p>① 散歩/日 5000〜1万歩(車社会の中)</p> <p>② スマホに頼らない生活に心がける</p> <p>③ 嗅覚が最初に衰える。かいにかいん感になる 早期の診断、治療が大事。</p> <p>これらの観点から村として若い世代の人々への指導は何か考えているか</p>	健康福祉課



令和5年2月16日

豊丘村議会議長 片桐忠彦 様

豊丘村議会議員 武田 篤子

一般質問通告書

次の通り通告します。

NO. 1

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 高齢者の交流の場について (3) (7) 提言	(1) 地域サロンが開催されているところはどこか。そのうち区が主体となっていて行われている地域はどこか。活動状況（開催回数、内容）について伺う。	健康福祉課長
	(2) 開催にあたって活動補助金がつけられているがその内容について伺う。	健康福祉課長
	(3) 区でサロンを開催するところについては、協力金などの補助をつけてはどうか。（これからサロンを取り組もうとする区の後押しにもなり、区内でボランティアとして行っているところにも、区からの補助金がさらにプラスされるなど、応援になるのではないか）	
	(4) 上記に対する考えを伺う。	村長
	(5) 地域高齢者クラブ、村にいくつあるのか。該当者はどのくらい加入しているのか。活動の様子について伺う。	健康福祉課長
	(6) 高齢者の生きがい作りという観点で、その他、村として行っていることについて伺う。また、高齢者の生きがい作りについての、課長の考え方や、思いを伺う。	健康福祉課長
	(7) 「村のサロン」として、はつらつ、憩いの家などの公共施設の開放を年間を通じて行うことはできないか。	
	(8) 上記に対する考えを伺う。	健康福祉課長

<p>2.空き家等の対策について</p>	<p>(1) 村が考える空き家、空き家等の定義について伺う。</p>	<p>建設環境課長</p>
<p>(3) ⑤ (5) 提言</p>	<p>(2) 現在、空き家としてカウントしている数について伺う。</p>	<p>建設環境課長</p>
	<p>(3) 使える空き家に関して</p>	
	<p>① 村では、再生利用に補助金をつけているが、そのしくみについて、また、宅建業者と村との関わりについて伺う。</p>	<p>産業振興課長</p>
	<p>② 空き家バンクへの登録者数はどのくらいあるのか伺う。</p>	<p>産業振興課長</p>
	<p>③ 貸し手の登録者のうち補助金を受けたかたはどのくらいいるのか。</p>	<p>産業振興課長</p>
	<p>④ 村では、現在の空き家に対して、これから空き家になるかもしれない住宅についてなどの相談に応じてくれるのか伺う。</p>	<p>産業振興課長</p>
	<p>⑤ 空き家と認定する固定資産税を払っている人に対して、村が家屋についての意向調査を行う中で、空き家の有効利用、処分などについて関係者と話し合いをしてほしい。</p>	
	<p>⑥ 上記についての考えを伺う。</p>	<p>村長</p>
	<p>(4) 取り崩しが必要となる空き家に関して</p>	
	<p>① 空き家等除去費補助金をもらう必要な要件について、また、特定空き家として認定するためにどのような手続きがあるのか伺う。近年3年位の補助実績についても伺う。</p>	<p>建設環境課長</p>
	<p>② 空き家を壊した後の税金（減免措置など）はどうなるのか。また、空き家に対してはどのような税金がかかっているのかなど制度の内容について伺う。</p>	<p>税務会計課長</p>
	<p>(5) 将来特定空き家になるかもしれない管理不全空き家を解体する際に若干の補助をつけ、空き家を取り崩す後押しができないか。 また、解体して更地になった場合、将来的には地目変更を指導するなど空き家対策に向けた措置を考えていけないか。</p>	
	<p>(6) 上記についての考えを伺う。</p>	<p>村長</p>

豊丘村議会議員 片桐忠彦 様

豊丘村議会議員 唐澤克己

一般質問通告書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
<p>1 豊丘村観光協会による「観光地域づくり」に示された事業構想について</p>	<p>豊丘村の地理的な特徴や地域としての特色は、伊那山脈最高峰の鬼面山を頂点に、天竜川まで西向きに河岸段丘を形成し、赤松林を有する森林面積が約75%に及び、段丘の中・上段は主に果樹園と野菜畑、最下段には豊かな水田地帯が広がっていることです。村の気候も、近年の温暖化で徐々に変化してきているとはいえ、適度に昼夜の寒暖差があり、冬の降雪も少なく、果樹や野菜、水稲栽培など農業耕作に適している点が魅力といえます。そうした意味で、豊丘村観光協会(とよおか旅時間)が、この度提示した「観光地域づくり～観光による地域課題の解決～」というコンセプトに基づく事業構想には大いに期待します。ここではこの構想の実現を願い、いくつかの事項に関し質問いたします。</p> <p>(1) 「観光地域づくり」では、「豊丘村の主産業は農業」と謳っているが、村が目指す将来像としては、豊丘村の場合は、「地理的条件や地域性等考慮すればやはり農業が中心となるのが望ましい」と解釈してよいか。</p> <p>(2) 「観光地域づくり」では、「観光による地域課題の解決」として、例えば地域課題に「農業の衰退、担い手不足、遊休農地の増加、人口減少」等を挙げているが、これは、「村外の方々に、まず客として村を訪れてもらい、農業に適した環境や地域性を体験する中で、最終的には農業者として定住してもらうこと」を目標にしているということか。</p> <p>(3) 村が目指す将来像の中心に農業振興を据えたことは、環境保全のためにも適切と思う。こうした構想をさらに実効性のあるものにしていくためには、村土の75%を占める森林や山林の計画的で日常的な手入れや整備を行う林業の振興にも力点をおいていくことが、環境保全の面からだけでなく、「観光地域づくり」には不可欠と考えるがどうか。</p>	<p>産業振興課長</p>
<p>2 新型コロナウイルスへの村としての今後の対処について</p>	<p>新型コロナウイルスへの対処については、わが国においても今後従来の施策を変更していくとの方針が示されています。これはこの問題が解決されたというよりも、わが国を含め世界中どの国も、経済活動維持のためには、この問題に対して従来のようにきめ細かに対処する余裕がなくなったというのが実情ではないかと推測します。そこで、村として、特に生活様式の面で、新型コロナウイルス感染症に今後どのように対処していくのかに関し、質問いたします。</p> <p>(1) 以前は市町村別に感染者数が新聞等で報告されていたが、今は状況が変わり、村内がどうなっているのか一般村民にはわからない。現在村当局では村内の状況をどの程度把握できるのか、教えてもらいたい。</p> <p>(2) 今後の対処については国の方針に全面的に合わせていくのかどうか。村独自の経験に基づき、臨機応変に対処する場合もあるのかどうか。</p>	<p>健康福祉課長</p>



令和 5年 2月 16日

豊丘村議会議員 片桐 忠彦 様

豊丘村議会議員 牙澤 恒雄

No.1/2

一般質問通告書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1、妊娠から出産育児までの伴走型相談支援について	(1) 核家族化が進み地域のつながりも薄くなる中で、妊婦や子育て世帯は孤立や不安を感じており、子供を持つことをリスクと考える若者も増えている。すべての子育て世帯が安心して出産や子育てするための支援が必要であり、地方自治体には、妊婦や0歳から2歳の子育て世帯に寄り添う、伴走型相談支援が求められている。	
	①妊娠届出から出生届出までの期間における相談支援について、実施する時期・場所・内容などについて伺う。	健康福祉課長
	②出産後0歳から2歳の子育て世帯に対する相談支援について、実施する時期・場所・内容などについて伺う。	健康福祉課長
	③伴走型相談支援とともに、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対して、合計10万円相当の経済的支援を行う。その対象者・時期・金額について伺う。	健康福祉課長
	④兵庫県明石市では市の研修を受けた配達員が、毎月おむつや子育て用品を自宅に届ける。その際、育児の不安や悩みを聴いたり役立つ情報を伝える、0歳児見守り訪問「おむつ定期便」を行っている。当村でも行なったらどうか伺う。	村長
⑤家庭の事情や親の健康状態などから、子どもと親の日常を守るための支援が必要なケースも予想される。産後の家庭で家事や子どもの世話をし、家事支援員の派遣を行ない支援したらどうか、考えを伺う。	村長	

令和 5年 2月 16日

豊丘村議会議員 片桐 忠彦 様

豊丘村議会議員 牙澤 恒雄

No.2/2

一般質問通告書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
2、外国人への日本語理解の支援について	(1) 当村に転入して来られる方の中には、外国の方もいる。伴野区の自治会には日本語を話せない住民がいて、通訳してくれないと、ごみ出しの仕方を教えられないということだ。	
	① 村民の中の外国人は、使用言語別にどのくらいいるのか	総務課長
	② 転入してきた外国人は、まず役場の受付窓口に行くと思われるが、どのように対応しているのか。	税務会計課長
	③ 名古屋市の千種区では自治会に対し、外国人住民との意思疎通に役立ててもらうため、携帯用の音声翻訳機を1台貸し出している。当村でも行ったらどうか伺う	村長
	④ 生活していくには日本語が分からないと不便と思われれます。日本語を習う機会を提供し学んでもらったらどうか伺う。	村長

	<p>幹産業である農業生産が今以上になるような方向を明確に打ち出していただきたい。</p> <p>(3) 国は平成 26 年、地方公共団体に「公共施設等管理計画」の策定要請がされ、村でも「豊丘村公共施設等総合管理計画」を策定し、議員に配布された。それによれば、庁舎や学校、福祉施設などの公共施設 (52,000 m²) について現状を所定の耐用年数で建て替えを行う場合、年平均 4 億円、道路 (360 km) や上下水道 (120 km) などインフラ資産については年約 8 億 9 千万円、合計年 12 億 9 千万円が必要となるとし、まとめと、考え方の項には「公共施設等の更新費用等の確保は困難であることから、より計画的な維持管理やライフサイクルコストの縮減について検討と必要な財源確保の検討が求められる」とある。そして、全庁で情報の共有をはかるとしている。分かりやすく説明を。また、村長の立場でこの課題をどう捉え、どんな具体的な取り組みを考えているかお聞きしたい。</p>	<p>総務課長</p> <p>村長</p>
<p>2. 第 6 次村振興計画と住民自治</p>	<p>村では令和 5 年度から始まる第 6 次振興計画策定に向けて、住民意識調査アンケートが実施された。私はたまたま振興計画策定委員のメンバーにさせて頂き、配られたアンケート結果をまとめた資料を読んで、特に、記述式の設問への答えの内容に釘付けになった。中でも、「村づくりや村政に関する自由意見」では、回答者 800 人の内 300 人の方から意見が書かれ、関心の高さが伝わってきました。10 代から始まってどの年代の方も、今の自分の立場を説明しながら、こういう地域、こういう行政にという思い、心配していることなどアンケートの問いかけに真摯に向き合い回答されており頭の下がる思いで読ませていただいた。そして、その回答の中にこのアンケートや村に対して根本から否定するものは一つもありませんでした。</p> <p>(1) 限られた期間内であれだけのアンケートをまとめられ、ご苦勞も多かったと思うが、直接担当され感想等ありましたらお聞かせください。</p>	<p>総務課長</p>

	<p>た看板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴野など村内各地の三六災害の記録 ・村内各地の井水の取水の工夫など ・松尾多勢子の足跡など <p>まず、住んでいる地元を知り、地元に興味をわき、地元愛につながると思うが、考えを伺う。</p> <p>(2) 今から30年以上前、公民館報で、河野の代田俊文さんが、10月8日をゴロに合わせて、(とーよーか)豊丘の日にしたらという提案をされた記事が掲載されました。当時、私が担当したことからずっとこの提案が気になっていました。いい提案なので世間に出すべきと提案させていただきます。</p> <p>10月8日を(とーよーか)豊丘の日として、村花、村木のように、村の日として定め、改めて村を知り、見つめ直して郷土愛を育むきっかけにつながればと考えます。例えば、その日は学校給食はまつたけご飯と100%地元食材のメニュー。村内の史跡、村内工場見学など、普段見ることのできない2~3コースを作って大人の社会見学、「豊丘の好きな場所、私のイチオシ!」を募集、有線テレビで放送、など、など、小さな足元を見つめることで、在住者も移住者も豊丘村民を意識する日にできたらと思うが、考えを伺う。</p>	<p>村長</p>
--	--	-----------



令和 5 年 2 月 16 日

豊丘村議会議長
片桐 忠彦 様

豊丘村議會議員 前沢 光昭

一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1、特別障がい者手当の周知について	<p>特別障がい者手当というものがあります。</p> <p>特別障がい者手当とは在宅で20歳以上、精神や身体に著しい重度の障害があり、常に特別な介護が必要な人に、月27,300円の手当てを対象者に支給する制度である。障がいがある人にとっては極めて有効な制度で、もっと広げるべきであると思う。</p> <p>しかし一般的には周知されていない。国の事業であり予算書にも表れない。村では障がい者手帳所有者など対象に県に申請するとの事。</p> <p>この制度については障がい者手帳を持っていなくても医者の診断書があれば支給対象になる可能性がある。そして介護度4、5の人を対象になる可能性があるとの事だが実態について伺う。</p> <p>①制度そのものが複雑である上に申請方式なので知らない人も出てくる可能性がある。この制度がもれなく利用できるように促進されることが大事だ。要介護4、5の人への対象の可能性については実態はどうなっているか。対象者への周知はどのように行っているか。</p> <p>支給の対象外となる例はあるのか。</p> <p>②在宅以外にもグループホームや有料老人ホーム入所者も対象になる可能性があるという事だが実態はどうか。</p>	健康福祉課長
2、福祉医療費完全無料化について	<p>福祉医療費については現物給付という形で、長野県独自に現在中学卒業まで無料化になった。</p> <p>しかし長野県独自に1レセプト500円の受益者負担が</p>	健康福祉課長

<p>3. 新型コロナウイルス感染症の後遺症について</p>	<p>ある。飯田下伊那では多くの町村で独自に 300 円となっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症以前から子どもの貧困が問題になっていた。国の調査でも生活保護捕捉率が 6.6% で小中学校 1 クラスに 1 名～2 名は貧困世帯との集計もある。生活保護レベル以下の収入でも生活保護を受けない世帯がある可能性があるという事。(国会答弁)</p> <p>「500 円くらいなら払えるじゃないか」との意見もある。親子の面倒見ていたある小児科医、保健師や、保育士の親への「医者に見せた方がよい」の忠告にも「財布にお金がないから医者に行けない」との実例もあった。</p> <p>「親の責任」だけでは済まされない実情あり。</p> <p>①飯田下伊那では県内の中でも独自に 300 円になっている町村が多いが、豊丘村では今から 24～25 年前頃だと思う。当時郡内でも豊丘村、喬木村が先駆けて 300 円にした経過がある。</p> <p>今回 300 円の受益者負担を負担なしへと転換が出来ないか。なお 2021 年度現在県下で 11 町村が完全無料化になっている。</p> <p>仲がコロナについては、市町村ごとの把握もなくなり、ワクチン接種も 5 回目が進行している状況である。</p> <p>感染者については把握もしてないと思うので全体像はつかめないと思うが、村内で数百名はいると思われる。第 8 波の流行も心配されているが感染者の後遺症も問題となっている。個人差もいあるが嗅覚障害や味覚障害が一般的には言われるが中には記憶障害を訴える人がいる。重大な後遺症をかかえた場合仕事にも影響し、退職せざるを得ない人もいる。労災の対象にもならないとの事。</p> <p>①豊丘村でどのくらいの人が感染してその後の後遺症に悩んでいるか実態はつかんでいるか。</p> <p>②後遺症は今後問題になってくると言われているが、市町村で出来ることは実態をつかんでおくことが必要と思う。そのための体制も必要と思う。</p>	<p>村長</p> <p>健康福祉課長</p> <p>村長</p>
--------------------------------	--	-----------------------------------



令和5年2月16日

豊丘村議会議長 殿

豊丘村議会議員

吉川 翔博

一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
① リニア中央新幹線効果はどのように期待するか	<p>リニア中央新幹線は当初の予定では開業は2027年でした。各種の事情で遅れるのではないかとされていますが、心配されます。</p> <p>拙宅付近でも、リニア中央新幹線関連工事の村道改良が始まる気配がしてきました。</p> <p>質問 リニア中央新幹線開業前・後の一・十の影響を、村長はどのように考え、どのような効果期待するか、具体的な考えや事業があるか質問します。</p>	村長
② 子らの一時預かりができる仕組みはあるか	<p>子供の人口減少の抑制、子供を育てやすい環境の増進が優れていると言われているが、村豊丘村はなお一層他の自治体より優れているようになり、住むのなら豊丘村、家を建てるなら豊丘村と言われて、人口がめざましく増える画期的な施策をしなければなりません。</p> <p>大きな施策も必要だが、子育ての期間中の不便さの解消も子育て環境の充実に必要だ。</p> <p>質問① 乳幼児・保育園児・小学生の保護者が、所用のため短時間・長時間の一時預けができる施設・仕組みはあるか。ある場合は説明を求めます。</p> <p>②無い場合は今後要望を受け入れられる施設・仕組みを設置する考えはあるか質問します。</p>	こども課長 村長
③ 給食の無償化について	<p>① 現在の保育園、小学校、中学校の給食費の年間額はそれぞれいくらか、合計総額いくらか、</p> <p>② 令和4年度の一般会計予算額と比較すると割合はどのくらいになるか。</p> <p>③ 保育園、小学校、中学校の給食費の無償化は考えているか。</p>	担当課長 村長

	<p>める。</p> <p>③ 道路沿線の雑木については、道路上に被さる樹木等の整備をするため既存の小規模竹林整備事業の拡充、または新たな補助事業（小規模山林整備事業）を新設し、区や自治会主体で広く整備が進むよう依頼し、整備を推進する。</p> <p>2 移住定住対策</p> <p>(1) 過去3年間における県外からの移住戸（者）数（1・Uターン別）は、年度別ではどのようになっているか。</p> <p>(2) 現在の職員体制はどのようになっているか。 また、招致活動や受入れ後の支援を強化するため、以前のように専任職員を配置すべきではないか。</p> <p>(3) 受入れ後の支援として地域サポーターを配置しているが、活動状況はどうか。 また、実績報告は求めているか。</p> <p>(4) 意見交換会や激励会を、少なくとも年1回は開催すべきではないか。 また、地域で頑張っている様子を広報等で紹介してはどうか。</p> <p>3 企業・研究所等の誘致対策等</p> <p>(1) 誘致活動はどんなことを行ってきたか。また、過去3年間の年度別誘致実績はどうか。</p> <p>(2) 企業誘致委員会へ、誘致計画の樹立と具体的な誘致運動について諮問した経過はあるか。 ない場合は諮問して、推進を計るべきではないか。</p> <p>(3) 農業関係の補助事業を導入したことによる開発上の制限はあるか。また、ある場合の対策はどうするか。</p> <p>4 円滑なコミュニティーを維持するためには</p> <p>(1) 移住者が自治会へ加入し円滑に活動に参加するための具体的な方策はあるか。</p> <p>(2) 昨年の6月議会一般質問で以前に紹介した「集落の教科書」のような案内冊子が必要と考える。 村長も「同様な考えである」という答弁であったが、具体的に、区が中心になって作成できるよう各区に依頼してはどうか。</p>	<p>税務会計課長</p> <p>副村長</p> <p>産業振興課長</p> <p>産業振興課長</p> <p>村長または産業振興課長</p> <p>総務課長</p>
--	---	---



令和5年2月17日

豊丘村議会議長 片桐忠彦様

豊丘村議会議員

井原明

一般質問通告書

次の通り通告致します

1/2

質問事項	質問の要旨	質問相手
<p>1. 災害時における氏名等の個人情報公開について</p>	<p>長野県では22年8月頃県が「緊急時は家族の同意がなくても公表する」と、初の方針を示しています。 このような状況の中、村としての防災時における、個人情報の公開についての対応方針などが見えてこないの で、以下に関連内容を伺う。</p> <p>質問</p> <p>1) 県の「緊急時の情報公開を行う」との方針の下、当村での方針はどの様か。 ・方針ありは、どんな内容（県に準じてなど）？ ・方針無しは、どんな理由で？</p> <p>2) 情報公開を行う場合、どの様な基になるツールが必要と考えますか。 ・ツールとしては安否確認表？ ・地区ごとの住民台帳？ ・その他</p> <p>3) 令和3年9月の一般質問で同様なことを伺った際に、答弁として、地区や自治会の状況に応じた、避難対象者の把握について、区長会等で検討してみたいとのことだが、その後の検討状況を伺う。</p> <p>4) 今後において。村による各地区への住民台帳作成への指導する考えはあるのか伺う。</p> <p>提言 村内居住者の台帳は、有事の際に有効活用できるように、更に各地区とも協議を深め、整備を行うよう提言します。</p>	<p>担当課長</p> <p>担当課長</p> <p>担当課長</p> <p>担当課長</p>

<p>2. 消火器の購入費補助について</p>	<p>当村における消防団員の団員数は、当初より大幅に減少しているのが現状である。各地区の皆さんや行政の団員確保への努力に感謝しますが、大きくは増員がない状況と思います。</p> <p>1) 団員減少の状況で、有事（火災）などへの支障はどの様か伺う。</p> <p>2) 少ない団員状況が続く中、少しでも火災被害を少なくするために、どんな対策をしている。</p> <p>3) 現在、消防団の家庭訪問がなくなり、現状が見えているか不明ですが、各家庭での消火器の設置状況を伺う。</p> <p>4) 豊丘村住民向け補助制度を確認しましたが、消火器の購入補助に関する制度がありません。村民の安心、安全な暮らしに求める補助は他の物と同類であると考えるが、補助制度の導入は出来ないか伺う。</p> <p>5) 上記内容について、村長の考えを伺う。</p> <p>提言 消防団の負担を軽減するためにも、火災は起こさないことが最優先だが、初期消火の対応を確立するためにも、補助制度を確立して、消火器の購入者には補助をすることを提言します。</p>	<p>担当課長</p> <p>担当課長</p> <p>担当課長</p> <p>担当課長</p> <p>村長</p>
-------------------------	---	---



令和5年2月17日

豊丘村議会議員 片桐忠彦様

豊丘村議会議員

唐澤 健

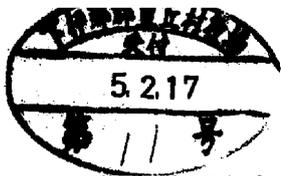
一般質問通告書

次の通り通告します。

NO.1

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 中学校の部活動について	<p>1) 中学校部活動の地域移行について</p> <p>①部活動指導が学校の業務として位置づけられている(学校教育の一環)。また、部活動の設置・運営は法令上の義務として求められるのではなく、必ずしも教師が担う必要のない業務と位置付けられている。</p> <p>文科省は部活動改革については、公立学校における働き方改革の視点を踏まえ教師の負担軽減を実現できる内容とすることが必要である。</p> <p>現状、部活はどのようになっていますか。</p> <p>②文科省は具体的な方策として、令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図るとともに、休日の部活動の指導を望まない教師が休日の部活動に従事しないこととする。令和3年度以降教育委員会において兼職兼業の許可の仕組みを適切に運用できるよう整理を示すこととされていますが、現在の検討状況はどのようになっていますか。</p> <p>③地域の指導者を募る場合、広く村内に呼び掛けることが必要ではないでしょうか。これからの検討課題と考えますが、どのように考えているのでしょうか。</p>	教育長
2. インクルーシブ教育について	<p>2) インクルーシブ教育について</p> <p>①特別支援学級について</p> <p>2月14日の信濃毎日新聞に「ふつうって何ですか? (発達障害と社会)」の連載が始まりました。ここで、特別支援学級に入るための医師の認定に関する記事が載っています。特別支援学級について教えてください。</p> <p>②2月5日に阿智村公民館で「夢みる小学校」の上映がありました。翌日の南信州新聞に報道されています。子どもずれのお父さん、お母さんが大勢来ておられました。</p>	教育長

質問事項	質問の要旨	質問相手
	<p>映画は、きのくにこども村学園小中学校を中心としたもので、スローガンは「まず子どもを幸せにしよう。すべてはそのあとに続く。」。そこでは、宿題がない、テストがない、先生がいない。しかし、発達障害等普通教室に通えない児童が、見えない学力をつける中で、見える学力を身に着け卒業していました。</p> <p>また、「みんなの学校」という映画の大阪市立大空小学校の木村泰子元校長先生は、見えない学力について、「①人を大切にする力②自分の考えを持つ力③自分を表現する力④チャレンジする力」と言っています。</p> <p>大空小学校は、一つの約束「自分がされて嫌なことは、人にしない、言わない」だけです。教師も大人も、「子どもに学ぶことが大切だ。」と言っています。そして、初めから子どもを排除する特別支援学級は必要ないとも言います。</p> <p>ひとりの子供も見捨てない「インクルーシブ教育（仲間はずれにしない、みんな一緒に）」を実践しています。</p> <p>インクルーシブ教育についての考えをお聞きします。</p> <p>③豊丘の小中学校では黙々清掃をしています。黙っていることが難しい発達障害の子や知的障害の子は学校で掃除ができないのではないのでしょうか。</p> <p>インクルーシブ教育との関連で、見直すべきではないのでしょうか。</p>	



令和 5年 2月 17日

豊丘村議会議長 片桐忠彦 様

豊丘村議会議員 片桐義忠

一般質問通告書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
学校現場における 平和教育について	1.本村学校現場における平和教育の位置付けと 実態。教育委員会の考えについて伺う。	教育長
	2.平和教育に取り組む中での現状の課題について 伺う。 (教職員の対応や子供達の反応など)	教育長
	3.以上一連の質問と答弁についての感想と村民 への平和アピールについて伺う。	村長



令和5年2月17日

豊丘村議会議長 片桐忠彦様

豊丘村議会議員

一般質問書 通告書

壬生 真由美

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
<p>1.リニア建設工事の進捗について</p>	<p>(1) 進捗状況について 昨年のトンネル掘削開始から、事故発生による中断の影響もあるが、坂島工区では 6/8 の工事再開後では、今までの進捗に比べて滞っているように思われる。トンネル工事はどんな熟練の技術者であっても『掘ってみなければわからない』、想定外のことがあろうかと思う。JR 東海や JV との綿密な打ち合わせの中で、順調な工事の進捗に影響する事象や事情があるのか伺う。</p> <p>(2) 要対策土について ① 昨年6月の一般質問で、トンネル掘削発生土に含まれる重金属など対策が必要な成分の検査を第三者機関に依頼することを提案した。これに対し、関係町村と共に県に依頼することはできる、という回答を頂いた。その後の検査体制と、その後の要対策土の発生量、現在の要対策土置き場の状況を伺う。 ② 柏原変電所は JR 東海の自社用地で要対策土の最終処分先の一つと言われる。変電所の造成開始にあたり、要対策土の盛り土造成に関する手法について、大鹿村では第三者機関による試験的な実施検討により、最終的な処分方法を決めると聞く。豊丘村でも説明や試験の実施等を要望できないか。</p> <p>(3) 阿島北高架橋他工区について 橋脚建設のため壬生沢川の流路付け替えや、村道壬生沢線の改良を含む工事と聞く。壬生沢坑口周辺では、既に工事進入路や資材置き場用地として土地を手放した方もおられるが、工事が完了してリニア開通後も、騒音や微気圧波、振動をはじめ日陰による影響など、村の他の地区にはない様々な問題を抱えている。これらの影響を最大限に軽減するために、村はどのような対応をしているか伺いたい。</p> <p>(4) 県の盛土規制条例の施行と村内リニア建設工事発生土について ① 長野県盛土等による土砂災害の防止に関する条例が令和4年7月11日公布され、本年1月1日より施行された。この条例では一定規模の盛土を行う者、土地の所有者、土砂を発生させる者、県の責務が規定されている。条例制定後の盛土が対象という。戸中や本山の発生土置き場は着工し造成中だが対象になるのか。</p>	<p>総務課長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p>

質問事項	質問の要旨	質問相手
2. 災害時の避難に備えた取り組みについて	<p>本条例では盛土の申請者が土砂等管理台帳の作成や関係図書の保存が規定されている。しかし、その保存期間は5年間に過ぎない。また、土地所有者には、工事期間中毎月の施工状況の確認と、完了後の適正な管理が規定されている。本山や戸中をはじめとする村内の発生土置き場は、県の条例の想定規模をはるかに上回る。</p> <p>② 将来にわたる安全を確保するためには、盛土の施工状況の詳細な確認と関係図書の永続的な保存が必要と考えるが、県の条例で担保できない部分を村でどのように対処できるか。現在進行している工事に対して、考えを伺いたい。</p>	総務課長
	<p>豊丘村においては、いつ?か起こるだろうと言われる南海トラフ地震。線状降水帯による長雨や豪雨が段丘を刻む急流河川の増水による下流域での越水や天竜川の氾濫などの災害が想定される。</p>	総務課長
	<p>(1) 村の防災マップについて 足元のリスクを知ること</p> <p>浸水エリアは、天竜川の1000年確率。県管理河川の100年確率の表示が別図で示されていた。その後の見直しや改定について伺う。</p> <p>また、住民へ避難を呼びかける根拠となる情報源は、国と県、市町村のデ気象データにずれがある場合、初動体制に影響が出たケースもある。(2020年熊本県球磨川氾濫)。気象庁hpの『洪水キキクル』では常時中小河川の洪水警報の危険度分布情報を公開している。この情報の活用方法について伺いたい。</p>	総務課長
	<p>(2) 避難場所と避難訓練について</p> <p>村の防災マップには村指定の避難所(屋内施設と屋外施設)が示されている。防災訓練などは各地区での取り組みも様々だが、村が把握されている各区の事例などを伺いたい。</p> <p>分散型避難方法として屋外キャンプ方式もある。日頃から公園などを利用したデイキャンプ形式の防災イベントはいかがか。</p>	総務課長
<p>(3) 非常用備蓄物資について</p> <p>現在、災害に備えた物資は、どのようなものを、どれくらい備えているのか。備蓄場所は適切か。管理主体と必要な時にすぐに使用できる体制は。村でも簡易トイレの備蓄がある。簡易トイレは携帯用から組立用、据え置き型など様々ある。村の備蓄はどのタイプか。</p>	総務課長	
<p>(4) 『自分の身は自分で守る! ~大地震に備えておくこと~』</p> <p>総務課に備えてあるパンフレットは大変具体的で、個人が自分の状況を確認して災害に備えることができる。作成の経緯と普及状況について伺う。また、村内に住む外国国籍の方向け版の作成はいかがか。</p>	総務課長	